

# ◎よん顔

「アンティム・ムーレー」社長  
兼クリエイティブディレクター  
フランソワ・ヴィーナスさん



全世界で高級シルクネクタイの製造・販売を展開している、ネクタイ専門メーカーのアンティム・ムーレー社（スイス）。欧州をはじめ、日本、ドバイなど25カ国にディストリビューター（流通業者）を持ち、06年度の年商は1800万円になる。

「ランバン」を皮切りに、「ニナリッチ」「ドーメル」「セルツァー」といった高級ブランドのネクタイの製造・販売権を獲得しながら、世界に販路を広げてきた。

02年からは、そうした販路を生かしてオリ

ジナルブランド「アトリエF&B」をスタート、世界20カ国・地域で販売している。中国産の安価な商品が世界中にあふれる中、「創造性と熟練の技があれば、マーケットの将来は明るい」と、フランソワさんは述べる。

自信の背後にあるのは、仏ゲヤールの工場とそこで働く170人の熟練職人の存在だ。1919年の創業後、長年受け継いできたノ

ウハウを武器に高級市場を占有、年間4万5000本の生産は全世界における高級ネクタイの5%のシェアを持つという。「最も重要で難しい最後の仕上げ工程を担当する、6人の『針子』は当社の宝。ネクタイの裏側を見てほしい。彼女たちの名前が入っているはず」。

同社がシーズンに企画するネクタイは、約6000デザインに上る。デザインを担当するフランソワさんを含め3人が、過去の膨大なアーカイブとともに、「モードや世界のストリートなどのファッショントレンド、さらには入念なマーケット

トリサーチを参照してデザインしている」そうだ。

オリジナルブランド「アトリエF&B」の07/08年秋冬向けコレクションは、ポロやスポーツチームの世界をテーマに、カジュアルとエレガンスを融合させた。

「ネクタイは現代、ノー・モア・オブリゲーション（必須じゃなくなった）。だから締めること自体が楽しみなならないとね」。フランソワさんはモデル並みの容姿から、雑誌の「顔」になることもしばしば。今回も取材にあたり、はだしにスニーカー、コットンスーツに「アトリエF&B」のネクタイを身につけ、さっそうと登場した。

## 6人のお針子が宝